

発明の名称: プロジェクションシステム

利用・用途・応用分野

無料開放特許

情報機器、照明、映像・演出、イベント会場、体験型施設

目的・課題

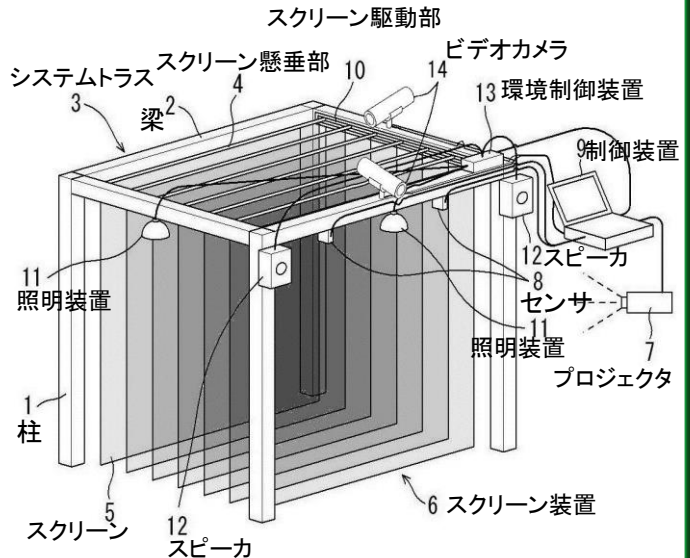
スクリーン装置の内部や周囲の体験者を撮影した画像と事前に記録してある画像とを合成した拡張現実画像をスクリーン装置に投影できるプロジェクションシステムを提供すること。体験者の行動又は生理信号を捉えるセンサの信号に依存して拡張現実画像やスクリーン装置内外の照明、音、気温、風、香りの少なくとも一つを制御して、体験者の視覚・聴覚・触覚・嗅覚等に刺激を与えること。

解決ポイント

4本の柱及び梁からなるシステムトラス、6本のスクリーン懸垂部、各スクリーン懸垂部に吊り下げられるスクリーン、プロジェクタ、体験者の行動を捉えるセンサ、制御装置、スクリーン駆動部、照明装置、スピーカ環境制御装置及びビデオカメラを備え、制御装置は拡張現実画像をスクリーンに投射するとともに、センサが捉えた体験者の行動に応じて制御装置が拡張現実画像、照明装置及びスピーカの出力を変動させる。

研究概要・アピールポイント

- ◆ 拡張現実画像の種類、明るさ、再生速度並びに照明装置の明るさや色、スピーカから出力される音の種類、大きさ、高低、速度が、体験者の行動に依存して制御される。
- ◆ 体験者の状態に応じてタイムリーに体験者の視覚・聴覚を刺激する演出ができ、体験者は通常体験することのできない独特の雰囲気に入れることができる。
- ◆ 環境制御装置に制御可能な装置を備えれば、体験者の視覚、聴覚寒暖の感覚や触覚、嗅覚の刺激も与えることができ、複数の感覚刺激を受け、生体内認知における相乗効果が促され、感性の変動を誘発することができる。



【プロジェクションシステムの基本構成斜視図】

◆ お問合せ先 ◆

有限会社山口ティール・エル・オー TEL: 0836-22-9768 E-mail: tlojim@yamaguchi-u.ac.jp